

幼稚園における学校評価報告書

丹波篠山市立今田幼稚園

園長 野々口 竜己

1 幼稚園教育目標等

「やさしく、たくましく活動する今田っ子を育む」
～げんき・なかよし・力いっぱい～

2 今年度の重点目標

4歳児（さくら組）

- ・自分でできることは自分で行い、好ましい生活習慣や態度を身につける。
- ・身近な環境に進んで関わり友達と工夫しながら一緒に楽しく遊ぶことができる。

5歳児（ばら組）

- ・友達や先生の話をしっかり聞き、相手への思いやりの心を持つことができる。
- ・新しいことにどんどん挑戦するとともに、失敗してもくじけない態度を培う。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

（達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する）

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
教育課程	遊びの充実と支援	A	園児が意欲を持って様々な遊びができるよう保育環境を整えるとともに、園児の気づきを深められるように言葉かけ等の支援を行った。園児は幼稚園での生活を通して成長することができている。
	食育と眠育 基本的な生活習慣の定着	B	好き嫌いせず食べることの大切さなど、毎日の給食の時間を中心に、食育を計画的に進めることができた。 早寝早起きの習慣は概ね定着しているもののまだ十分に定着していない園児もいる。引き続き機会を捉えて眠育の大切さを保護者に伝えることとする。
組織運営	安全・安心な園づくり	B	避難マニュアルに基づき、避難訓練を実施し園児が避難の仕方を学べるようにした。地震災害等の想定に合わせて、小学校と連携して訓練を実施できた。 教諭等と小学校にいることが多い園長・教頭とこまめに連絡を取り合うことを通して、危機対応ができる体制をつくることができている。 保育環境を整理整頓し、安全に過ごすことができるよう今後も努めることとする。

	地域に開かれた園づくり	A	保護者の参観機会を確保し、子供たちの成長の様子を見ていただくことができた。 園だより・学級だよりの配付、ホームページの更新により、園児の様子を積極的に知らせることができた。
特別支援教育	個に応じた支援	A	視覚支援など誰にとってもわかりやすい対応を心がけることができた。巡回相談での助言等を活用することで、園児の意欲を引き出し、スムーズな園生活につなぐことができた。
	保護者や関係機関との連携	A	園児の状況について、保護者とはこまめに連絡を取り合い、家庭と園が協力して取り組めるようにした。 巡回相談には、小学校の特別支援教育コーディネーターも同席し、小学校へつなぐ体制を作ることができた。

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・園児の実態に応じた適切な重点目標である。
- ・「げんき なかよし 力いっぱい」は、毎週のなかよし会（朝会）や行事等、園長が話すときには園児と一緒に大きな声で唱えているので園児もよく覚え、保護者もよく知っている。誰もがよく知る教育目標、合い言葉になっている。
- ・重点目標は、4歳と5歳では成長の度合いが違うのだということがよくわかるようになっている。それぞれの年齢で大切なことが身につくようにしてほしい。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・幼稚園の2年間で大きく成長したと思います。
- ・今田幼稚園での卒園が最終年度になることは感慨深いものがある。
- ・よい先生方に恵まれ、2年間とても楽しく通園することができた。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
教育課程 遊びの充実と支援 食育と眠育 基本的生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が楽しく行っているのは、きめ細やかな指導をしていただいているからだと思う。 ・食育や眠育など基本的な生活習慣は、園と連携して家庭でもしっかりと育みたい。
組織運営 安全・安心な園づくり 地域に開かれた園づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎も古くなってはいるが、必要な修繕等は確実にやっていたらいい。今後も整理整頓に努めてほしい。 ・ホームページの更新を楽しみにしている。
特別支援教育 個に応じた支援 保護者や関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた支援はこれからも大切にしてほしい。 ・安定して園児が幼稚園に通えるように関係機関とはこれからも連携してほしい。